



○ いろいろな時と場合を考えた避難について話し合おう!!



時と場合	どのような避難をするか??	「避難三原則」についても調べてみよう!!
学校にいる時に（教室，校庭，体育館等）		
通学・下校中に		
自分の家で		
車の中で		

津波到達時間が短い場合と長い場合の避難についても考えてみよう!!

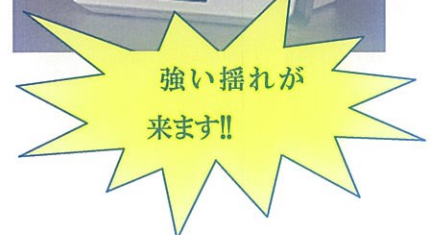
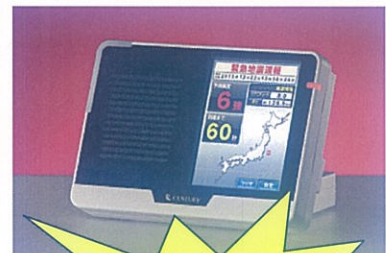


○ **緊急地震速報装置を使った訓練**



震源に近い観測地点で地震波(=P波)を検知し、直ちに震源の位置やマグニチュード、震度を推定し、強い揺れが来る前(数秒~数十秒前)に知らせる装置を「緊急地震速報装置」と言うんだ。揺れを感じる前に身を守る行動を取ることができるから、被害を少なくすることに役立つんだ。

最近はこの装置を使った訓練も全国各地で行われているよ。



○ リーフレット「緊急地震速報～まわりの人に声をかけながら あわてず、まず身の安全を!!～」

**緊急地震速報 利用の心得**

まわりの人にも声をかけながら

**あわてず、まず身の安全を!!**

緊急地震速報を見聞きしてから強い揺れがくるまでの時間は、**揺れから数十秒**しかありません

周囲の状況により具体的な行動は異なります。  
日頃からいざというときの行動を考えておきましょう

地震の揺れを感じたら…

(緊急地震速報がなくても)

**家庭**では

- 頭を保護し、じょうぶな机の下などで安全な場所に避難する
- あわてて外へ飛び出さない
- むりに火を消そうとしない

**鉄道・バス**では

- つり革、手すりにしっかりつかまる

**エレベーター**では

- 最寄りの階に停止させ、すぐにおりる

**屋外(街)**では

- スロッキョクの倒壊に注意
- 看板や割れたガラスの落下に注意

**自動車運転中**は

- 急ブレーキはかけず、ゆるやかに速度をおとす
- ハザードランプを点灯しまわりの車に注意をうながす

上記のほか、訪れた施設等において緊急地震速報を見聞きした時は、身を守り、係員の指示に従ってください。

**地震に備えましょう**

強い揺れに見舞われると、家具の落下や、転倒、ガラスの破損などが起きることが想定されます。「緊急地震速報」を見聞きしても、これらの危険に対する備えができていなければ身の安全を守ることはできません。

日頃から地震への備えを心がけると共に、室内の安全な場所を把握しておきましょう。

● 日頃からの備えの例

- 住宅・建造物の耐震化
- 家具などの転倒・移動防止
- 備品の落下防止
- ガラスなどの飛散防止

家具の転倒防止の例

※詳細は経産省消防庁ホームページ「地震による家具の転倒を防ぐには」などを参考してください。  
<http://www.fdma.go.jp/html/life/kagu1.html>

**家庭**では

- 頭を保護し、じょうぶな机の下などで安全な場所に避難する
- あわてて外へ飛び出さない
- むりに火を消そうとしない

**鉄道・バス**では

- つり革、手すりにしっかりつかまる

**エレベーター**では

- 最寄りの階に停止させ、すぐにおりる

**屋外(街)**では

- スロッキョクの倒壊に注意
- 看板や割れたガラスの落下に注意

**自動車運転中**は

- 急ブレーキはかけず、ゆるやかに速度をおとす
- ハザードランプを点灯しまわりの車に注意をうながす

上記のほか、訪れた施設等において緊急地震速報を見聞きした時は、身を守り、係員の指示に従ってください。

**訓練して備えましょう**

緊急地震速報を見聞きしてから強い揺れが来るまでの時間はごくわずかです。この短い間に、落ちてくるものや倒れてくるものを避け、あわてず身をを守るなど適切な行動をとるためには、日頃から訓練し、行動することに慣れておくことが重要です。

● 具体的な訓練はどうしたらよいの？

訓練は簡単・短時間で実施することもできます。まず、左のページも参考に、例えば自分がよく利用する場所(学校、職場など)でどうすれば身を守るか、具体的にイメージしてみましょう。そして、短い時間で本当にその行動がとれるのか、実際に行動して確認しましょう。

地震対応の防災訓練としては「シェイクアウト」という訓練も注目されています。これは、緊急地震速報を見聞きした時や地震発生を感じた時に、身の安全を確保する行動「安全行動1-2-3」をとれるようにするものです。アメリカで2008年に始まった世界最大規模の防災訓練で、日本では2011年に東京都千代田区が最初に実施し、2013年には全国で200万人以上が参加しています。詳細は下記ホームページを参照ください。  
【効果的な防災訓練と防災啓発(シェイクアウト)現地会議 <http://www.shakeout.jp/>】

緊急地震速報の報知音を合図に、このような訓練もやってみましょう。

※詳細は経産省消防庁ホームページ「地震による家具の転倒を防ぐには」などを参考してください。  
<http://www.fdma.go.jp/html/life/kagu1.html>

気象庁ホームページから

9 防災についていっしょに考えてみようでい!～専門家との連携等～

**チェック** ✓

災害時に実際に役立つ訓練にするために、専門家と一緒に学習してみよう!! また、防災家族会議も開いてみよう!!

○ 名瀬測候所の出前気象教室

<http://www.jma-net.go.jp/naze/>

名瀬測候所では、「出張気象教室」を行っているよ。内容は、「防災気象情報」「気象の観測」「台風」「大雨と土砂災害」「高潮」「地震と津波」等、いろいろなことについて勉強できるんだ!! 天気や自然災害の専門家の人たちと学習したことを自分たちの学校や家族の防災に生かせたらいいね!!

## ○ 大島支庁土木課の土砂災害出前講座



土砂災害防災のプロである土木課の方々が、模型を使って、土砂崩れ等について分かりやすく教えてくれるんだ。土・日曜日も講座を開いてくれるから、お家の人や地域の方々と一緒に勉強するのもいいね!!



## ○ 奄美市役所危機管理室の取組



平成 26 年度は、大川小中学校で親子防災教室を実施したよ。空き缶でのお米の炊き方等を学習しました!!



危機管理室では、右のような「奄美市ハザードマップ」を作り、全家庭に配付しているよ。まだ見ていない人は、家の人と内容を確認してみる必要があるね!!

MBC南日本放送の気象予報士も出前授業をしてくれるよ。よかったら申し込んでみて!!

## 奄美市ハザードマップ

津波編 ~名瀬地区I~ 奄美市発行  
上方地区



この地図は地震による津波が発生した際に、被害の発生が想定される範囲と、避難所や避難行動に役立つ情報をわかりやすくまとめたものです。

■この地図について...

記載内容について

- ①奄美市地域防災計画を基に奄美大島の東付近を震源とするマグニチュード 8.0 の巨大地震を想定しています。着色範囲はその地震によって発生する津波が陸上を遡ると想定される高さより低い範囲を示しています。
- ②津波は想定している地震が発生してから 10 ~ 20 分程度で奄美大島に到達すると予測されています。地震発生後は早く高台に逃げる必要があるため、一時的に避難する場所や土地の高さ(等高線)を示しています。

このマップを利用して、日頃から津波や地震に対する備えをしておいて、いざという時に安全な避難行動をしていただきますようお願いいたします。

■緊急時の連絡先

奄美市役所本庁・名瀬総合支所	0997-52-1111	鹿児島県LPガス協会奄美支部	0997-52-1991
名瀬消防署	0997-52-0100	奄美ガス(株)	0997-53-3611
奄美警察署	0997-53-0110	大島石油(株)	0997-53-0711
九州電力奄美営業所	0120-986-808	大洋産業(株)	0997-54-0111
N T T	113 0120-444-113 (受付:9:00~17:00)	吉田商事(株)	0997-52-3151
		南海ガス(株)	0997-52-3511

■最新の気象情報はこちら!

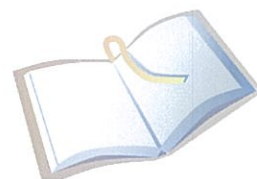
奄美市防災情報	<a href="http://www.city.amami.lg.jp/amami13/default.asp">http://www.city.amami.lg.jp/amami13/default.asp</a>
鹿児島県防災・防災気象情報	<a href="http://kagoshima.bosa.linfo/">http://kagoshima.bosa.linfo/</a>
九州防災ポータルサイト	<a href="http://www.qst.mlit.go.jp/bousai_joho/kyusyubasa/">http://www.qst.mlit.go.jp/bousai_joho/kyusyubasa/</a>
気象庁	<a href="http://www.jma.go.jp/jma/index.html">http://www.jma.go.jp/jma/index.html</a>

目次

- ① わが家の避難所・避難経路
- ② 避難時の心得
- ③ 非常持出品
- ④ 避難情報について
- ⑤ 地震・津波と被害について
- ⑥ 南海トラフの地震について
- ⑦ 災害時の伝言サービス

## ○ MBC放送ボランティア出前授業(これまで実施した内容)

- ◆ 災害情報を伝え住民避難をうながす地域のあり方
- ◆ 気象情報・ローカルニュース(災害から学ぶ教訓)
- ◆ 防災について
- ◆ 気象情報の活用法



※ MBC出前授業ホームページ : <http://www.mbc.co.jp/demae/katudou2014.html>

○ 奄美市小・中学生防災キャンプ(夏休み・8月第1週, 小学校5年生以上対象)

- ハザードマップについて
- 自然災害全般について
- 図上訓練(DIG)
- 避難行動について
- 非常食・炊き出し訓練について
- 災害時の応急手当について
- 災害時のトイレについて
- 避難所生活の実際
- 家庭における備蓄品について

みんな一緒に勉強しようね!!



**避難所での宿泊体験を通して、非常時に対応できる力を身に付けよう!!**

○ 防災家族会議を開こう!!(「津波てんでんこ」の教え)



東日本大震災の時は、「津波てんでんこ」という言葉が注目されたね。  
この言葉は、「いざというときに家族のことを心配してしまうのは当たり前だからこそ、普段から“てんでばらばら”に避難することができるようにしておくことが必要」という、先祖から伝えられてきた教訓なんだ。

**「それぞれが自分の命を守り、それを信じ合えることが本当の絆」**

「万が一」に備えて、家族でどのような事を話しておくことが必要かな?



10 避難所生活について考えてみようでい!



大きな災害が発生したら、避難所で生活する場合が出てくるかもしれない。避難所生活について考えよう!!